


すみかわ地区センターだより 第160号

札幌市すみかわ地区センター運営委員会 南区澄川4条4丁目4-40 (澄川図書館向)
 令和2年7月22日発行 TEL 818-3035 FAX 818-3036
 アドレス <http://www.sumikawa-chikucenter.jp> (英数字小文字)

新型コロナウイルス感染防止にむけて、職員と利用者が協力しながらマスク着用での利用や、除菌・三密等に気を付けて運営しています。ご利用及び今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



=7・8月募集の事業と講座案内=

講座名・日時	内容	対象・定員等	申込・受付
夏休み こども寺子屋 8月12日(水) 9:30~11:30 講師：元教諭講師団	<内容> 今年は1日限りの夏休みこども寺子屋です。『おもしろ科学教室』と題し、「フワフワ凧」づくりを中心に浮遊科学の原理を、作って・感じて・楽しむ時間を企画しました。 メイン講師：村元 廣 先生 補助講師：元市内小学校教諭講師団 *各小学校に募集要項配布済	<対象> 澄川地区在住の小学生 <定員> 先着 30名 <参加料> 100円 *保険料	<申込期間> 7月20日(月)から 8月4日(火) 
パソコンワード ステップアップ 講座 全5回 講師：竹村 真奈美 氏	<内容> ワードの基本操作の復習と、画像と表等ステップアップした操作を学びます。 <日時> 8・9月の水曜日午前 10:00~12:00 8月26日、9月2日、9日、16日、23日 @マイクロソフトオフィスワード 2019 又は 2013、2016 搭載のノートパソコン持参。	<対象> 基本操作ができる方 <定員> 先着 10名 <受講料> 4,200円 (含教材費)	<申込期間> 若干の空きがあります。お電話ください。 〆切 8月12日(水)まで

☆申込方法：電話(818-3035)または直接すみかわ地区センター窓口で申し込みください。(先着順)
 受講料は申込期間中に窓口で直接納めていただきます。また、納入後の自己都合による払戻はできないことをご承知ください。受付時間は、曜日に関わらず午前9時から午後9時までとなっております。

ファミリー限定での無料開放を再開します！ *家族証明及び氏名記載を求めます

施設活用事業(無料開放) 8月末まで中止のお知らせ

卓球…………… 開放日：第1・3水曜日の夜、第2・4土曜日の午後
 バドミントン… 開放日：第2・4水曜日の夜、第1・3土曜日の午後
 囲碁…………… 開放日：毎週火曜・土曜日の午前・午後
 将棋…………… 開放日：日曜日の午前・午後

日曜日午後はファミリー開放日です。
 1・3週 卓球
 2・4週 バドミントン

「新型コロナウイルス感染防止対策」のため、当センターの施設活用事業(無料開放)は現在中止となっております。「無料開放」での感染リスクを下げる工夫を検討しておりますが、なかなか難しい現状です。それでも8月からは試行として、感染防止対策を施しながら「ファミリー開放」から始める予定です。日曜午後の「ファミリー卓球・ファミリーバドミントン」をご利用ください。すべての無料開放再開は、もうしばらくお待ちください。 <7月22日現在>

今年の秋の芸術展は9月11日より開催！ 皆さんの作品を募集します！ 館内展示しませんか？

<出展希望の方は、8月24日（月）までにご連絡ください>

制作作品は、8月24日～9月4日までにお持ちいただくことになります。

今年はコロナ禍のため、毎年秋に予定されていた澄川秋まつりや音楽演奏会等が全て中止となりました。澄川地域の多くの皆様方がセンターに会える機会は無くなりましたが、今年で18年目を迎えている「秋の芸術展」は、開催することにいたしました。澄川地区の隠れた芸術家の皆様方が制作された作品でコロナを吹き飛ばしたいと思えます。下記の通り作品を募集し、館内で公開展示します。

展示期間は、9月11日（金）～9月30日（水）、午前9時～午後5時まで館内展示

<作品募集>

一人 1～2点

□ 美術作品 サイズ20号(72.7cm×60.6cm)以内

□ 書道作品 サイズ全紙(135cm×70cm)以内

□ 写真作品 サイズ全紙版(45.9cm×56.2cm)以内

□ 手工芸作品 卓上に置く作品についてはご相談ください。

<昨年の出品例>

水彩画、色えん筆画、写真、パッチワーク、手芸、パステルアート等

(昨年出展数：30名・1団体・47作品)

☆ 展示作品の規格をはじめ、不明や不安なことがありましたらご相談ください。今年も館内が溢れるほどの多くの作品をお待ち申し上げます。

花壇に花がきれいに咲いています

マリーゴールド ベゴニア サルビア



札幌市すみかわ地区センターコラム 2020

初夏を迎え清々しい季節を迎えました。熊本を中心に大きな豪雨と被害をもたらした梅雨前線停滞での河川の氾濫や土砂崩れ、水害に伴う『尊い人命被害』には、あらためて心を痛めます。私自身、札幌は「安全な街」との概念をもち、とりたて災害への不安を感じたことはありませんが、一昨年の「ブラックアウト」を思い起こし、コロナをはじめとする突然訪れる「天災」には、強い対応力を日常的に持ち合わせる必要があると感じています。『新型コロナウイルス』も人命を脅かす目に見えぬ凶器です。コロナを正しく恐れながら、短い北国の夏を満喫したいものです。

< 館長 >